

1. ああ いい する わ が ー イ エ ー ス ー に  
 2. ああ いい する わ が ー イ エ ー ス ー に  
 3. ああ いい する わ が ー イ エ ー ス ー に  
 4. ああ いい する わ が ー イ エ ー ス ー に

まよき主 こきよの ととらあ のもけい あよきの いきイも ー も師し てををを 死よたは のろどな ふこりれ

ちべつし によきわ 立たわが つきはこ ー 日こいこ ー もろすろ たのいや だぞとさ たみたし よもかく りてき呼よ

まとみび つわ子た らにをう いあとこ のがもこ ちーみろ あななひ るいこら かのぞか ぎ主りれ



わたしたちは、御子にあって、神の豊かな恵みのゆえにその血によるあがない、すなわち、罪過のゆるしを受けたのである。 エペソ 1:7  
 キリストのゆえに、わたしはすべてを失ったが、それらのものを、ふん土のように思っている。  
 キリストとその復活の力とを知り、その苦難にあずかって、その死のさまとひとしくなり、なんとかして死人のうちの復活に達したいのである。  
 ピリピ 3:8, 10, 11

5

主よなれに謝<sup>しゃ</sup>しまつる  
 われを<sup>と</sup>解きはなち <sup>あめ</sup>天なる<sup>くに</sup>み<sup>のぞ</sup>国の望み  
<sup>あた</sup>与えたまいしを <sup>すこ</sup>「健やかなれ」との  
<sup>みくち</sup>なが御口もて<sup>かた</sup>われに 語りたまひしを。

7

主よわが<sup>め</sup>目に聖なる  
<sup>なみだ</sup>涙をば与え わが心<sup>きよ</sup>に清けき  
 愛を与えたまえ。 わが<sup>たましい</sup>魂にぞ  
<sup>まこと</sup>真のいつくしみを <sup>なら</sup>習わせたまえや。

6

主よな<sup>こみち</sup>が小道にわれを  
<sup>あゆ</sup>歩ませたまえや <sup>ことば</sup>み言葉につまずかず  
<sup>た</sup>立たしめたまえや。 わが身<sup>たま</sup>と魂をば  
<sup>また</sup>全き<sup>ひかり</sup>み光により <sup>て</sup>主よ照らしたまえ。

8

<sup>かむり</sup>わが冠<sup>みかみ</sup>わが御神よ  
<sup>よ</sup>この世の幸<sup>さいわ</sup>い 全く与えられずとも  
 なれを愛しまつらん こよなき光よ  
<sup>いのち</sup>わが命<sup>かぎ</sup>ある限り 愛するわが主よ。